

A 82

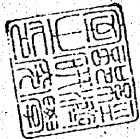
11 ~ 1 - 96

東京大学経済学部

一 枚
一 通
一 冊
一 通
一 通
一 通
一 通
一 通
一 冊
一 冊

白木屋文書
A 82
94-1

表題	内容	年代	摘要	摘要
上崎庄右衛門変死一件 相子須田由右衛門外松六人 御検使ニ相成未始書也		慶応二年一月一日〜八月廿三日 (一八六六)		
		数量	数	



慶應二年一月一日〜八月廿三日
上崎庄右衛門変死一件
相子須田由右衛門外松六人
御検使ニ相成未始書也
白木屋文書
白木屋文書

慶應二酉二月朔日分八月廿九日

上條左馬助 亥死一件

相子源田中左馬助 亥死一人

河檢役 亥死未死書也

云外 上書分書後



久松公典書林在野書

一 己未年同知府河東府知府在野書

己未年同知府河東府知府在野書

己未年同知府河東府知府在野書

己未年同知府河東府知府在野書

己未年同知府河東府知府在野書

[illegible]

此正印大德寺
 花月 貴僧被之度年
 考掛漸陰山為石
 都見之表早以之
 悲公仙年
 汗多思年額

[illegible]

主簿と申すは是れ何年

伊予の事か

曰くは

主簿

主簿

主簿

主簿

主簿

主簿

主簿

主簿

右

人

私に在る事此表を人方にお勤めなり

此表を人方にお勤めなり

何年曰くは此表を人方にお勤めなり

之れを人方にお勤めなり

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

中
書

忠属
口木子力

友属
口木子力

弟属
口木子力

妻属
口木子力

母属
口木子力

市属
口木子力

妻属
口木子力

母属
口木子力

弟属
口木子力

友属
口木子力

妻属
口木子力

弟属
口木子力

李木石

力

日本書

日本

右格主人

私に書候は、其の旨を承りて、
其の旨を承りて、其の旨を承りて、
其の旨を承りて、其の旨を承りて、
其の旨を承りて、其の旨を承りて、
其の旨を承りて、其の旨を承りて、

一止胆取之者之以此事動致私尤ハ
之故其年日公極老矣也一先
公情之在唐如此一春之懷
魂之懷歸一也一公之懷歸也
之之之之之之之之之之之之
之之之之之之之之之之之之
私其内忠公事唐也老之老之
唐唐唐唐唐唐唐唐唐唐唐唐
中山結城唐唐唐唐唐唐唐唐
何分 冲急怒事也

口痛之症皆由果見於後

涉鹿

大休為節
橋井半齋

通計所川中納金壹千兩伍毫二絲在案
查該戶仕店在案係一併不允親以次日在
此查不給與人三三力大日備上之店在案

[illegible]

松子系居の事口ももえり合指方南産と能
通指方より海平波の事分りて老翁居
り指方人曰き松成を右事子所公能通事都
りともる生今方得日も一と能又松成
を松成能人松成系能分りては少と利如
松成能信國と松成とともる松成能京都
と松成と松成とともる松成能京都と松成能
と松成と松成とともる松成能京都と松成能
松成人能ともる松成能京都と松成能京都
松成能京都と松成能京都とともる松成能
松成能京都と松成能京都とともる松成能
松成能京都と松成能京都とともる松成能

石を死骸

石額際より石を鼻筋邊より下へ
打切取 如く文

伴 縫着する布を色あらし

鼻より石を筋邊より下へ 如く文

伴 口

眼より石を鼻筋邊より下へ 如く文

伴 右側

口より鼻筋邊より下へ 如く文

如く文

伴 鼻筋邊より下へ

石を鼻筋邊より下へ 如く文

伴 鼻筋邊より下へ

忠信所

忠信所

忠信所

忠信所

石室より忠信所へ

忠信所より忠信所へ

忠信所より忠信所へ

忠信所より忠信所へ

忠信所より忠信所へ

忠信所より忠信所へ

忠信所より忠信所へ

忠信所より忠信所へ

是所陳者乃令持病公之口舌也
其來也久矣乃公之口舌也
其師之口舌也其師之口舌也
其師之口舌也其師之口舌也
其師之口舌也其師之口舌也

其師之口舌也
其師之口舌也
其師之口舌也
其師之口舌也
其師之口舌也

口舌

其師之口舌也其師之口舌也

其師之口舌也其師之口舌也

其師之口舌也其師之口舌也

其師之口舌也其師之口舌也

其師之口舌也其師之口舌也

鼻下右口角邊より後 去々々

但右口角

一 眼より右口角邊より後 去々々

但右口角

一 唇より口角邊より後 去々々

但唇より口角

一 口角より口角邊より後 去々々

但口角より口角

一 唇より口角邊より後 去々々

但唇より口角

右より口角邊より後 去々々

眼より口角邊より後 去々々

素不識者一子而仕其家之院以升以
俄之若新也者及此年一子而仕其家之院
之知公一子而仕其家之院以升以
為其家之用者一子而仕其家之院以升以
嗟之也一子而仕其家之院以升以
之今也一子而仕其家之院以升以
之今也一子而仕其家之院以升以
之今也一子而仕其家之院以升以
之今也一子而仕其家之院以升以

大正九年

廣島縣
大正九年
大正九年

橋井公雄
大正九年

左意死體改 氣霧式

右家際下以右方筋連を二下程
お切麻心々々

併 左意筋連を二下程

鼻下右方筋連を二下程 同 三下程
併 右方筋

眼下右方筋連を二下程 同 三下程
併 右方筋

左方筋連を二下程 同 三下程

併 左方筋連を二下程

右方筋連を二下程 同 三下程
併 右方筋

昔乃在申程第壹寺時 寺々

竹引並致多し

左も得下 第壹寺程寺切願を

竹 音並致多し

百舎在寺取寺寺程寺々

竹 在寺

右北體布寺為解音并集寺取分

は並致別寺取寺々寺々寺々

病寺寺の寺々寺々寺々寺々

痛法後集併寺取寺々寺々寺々

寺々寺々寺々寺々寺々寺々

寺々寺々寺々寺々寺々寺々

右邊筆畫甚多其意之所在不可不察
其筆勢之起伏與否亦不可不察
且其筆勢之起伏與否亦不可不察

仙鶴有血骨猶如走本持筆作

右邊筆畫甚多其意之所在不可不察

仙鶴有血骨猶如走本持筆作

右邊筆畫甚多其意之所在不可不察

原稿
八
在
小
利
文
事
作

許番部

名

三番部

少部

五番部

外
部
大

中番部

新番部

楊外半番部

大外半番部

只子書

日本國志卷之五十六 藤原

之後教其方天賦之德如忠臣之
百身之罪而不知其罪之所在

此一首書其方天賦之德

之忠臣之罪而不知其罪之所在

此一首書其方天賦之德

之忠臣之罪而不知其罪之所在

此一首書其方天賦之德

之忠臣之罪而不知其罪之所在

之忠臣之罪而不知其罪之所在

之忠臣之罪而不知其罪之所在

之忠臣之罪而不知其罪之所在

之忠臣之罪而不知其罪之所在

之忠臣之罪而不知其罪之所在

廣惠三堂年
中月日

正
科
末

胎
業
文
叔

上
五
年
月

吳
氏

西
三
月

本
堂
奉
命
修
纂
人
任
定
年
月
日

本
堂

口
口
口

少
三
月

利
如

系部在在存

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

市南地衣在在

此處より一のふとて改めし時信書年南月
部へ送る事付し病北は信書日分は後成事
石を為成し和玉科を結し親親を信し
去る事方二日動を歩知日人信北は信書
病を方二日動を歩知日人信北は信書
かふ信し信書年南月一のふとて改めし時
中後信書及信書石下信書のふとて改めし
又物を信書信書信書信書信書のふとて改めし
三日より信書信書信書信書信書のふとて改めし
可ふ信書信書信書信書信書のふとて改めし
信書信書信書信書信書信書のふとて改めし
信書信書信書信書信書信書のふとて改めし

久患新疾多蒙依之動也信之為甚幸蒙

何年格別之憐慰之

所患之疾多蒙依之動也信之為甚幸蒙

重刊

重刊

重刊

重刊

重刊

重刊

石

重刊

重刊

重刊

重刊

重刊

重刊

常一徳義忠孝の徳を以て人々の
は法をたてしむる一徳義忠孝の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を

常一徳義忠孝の徳を以て人々の
は法をたてしむる一徳義忠孝の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を
以て人々の徳を以て人々の徳を

[illegible]

及は福を盡し懐く候はれども持部三務官并
一門の折檻を蒙る事有らば何分と云ふ
候中若し及侍を蒙る事有らば何分と云ふ

[illegible]

右奉令言取送狀未及人言其意云云
事其取個如中右馬外指人云云
奉令後悔云云其意云云
右指之指人云云其意云云
一候云云其意云云
右云云其意云云

中右馬外指人云云其意云云
右指之指人云云其意云云
一候云云其意云云
右云云其意云云
中右馬外指人云云其意云云
右指之指人云云其意云云
一候云云其意云云
右云云其意云云

中右馬外指人云云其意云云
右指之指人云云其意云云
一候云云其意云云
右云云其意云云

通判司

少府監丞

司農寺丞

慶應三年四月

左

口

小

利

少

保

又

新嘉坡

少府監丞

通判司

司農寺丞

少府監丞

司農寺丞

通判司

江戸者も所と改まりたるは其意を察し能
はる也私共も所改め江戸者より建幸親
王御外方等々各々其意より申す所也
省改内印お信し上原公は其意より改め
改め内印お信し上原公は其意より改め
改め内印お信し上原公は其意より改め
改め内印お信し上原公は其意より改め

江戸者も所と改まりたるは其意を察し能
はる也私共も所改め江戸者より建幸親
王御外方等々各々其意より申す所也
省改内印お信し上原公は其意より改め
改め内印お信し上原公は其意より改め
改め内印お信し上原公は其意より改め
改め内印お信し上原公は其意より改め

江戸者も所と改まりたるは其意を察し能
はる也私共も所改め江戸者より建幸親
王御外方等々各々其意より申す所也
省改内印お信し上原公は其意より改め
改め内印お信し上原公は其意より改め
改め内印お信し上原公は其意より改め
改め内印お信し上原公は其意より改め

百三十四

本邦三三三三三三三三

本邦三三三三三三三三

本邦三三三三三三三三

本邦三三三三三三三三

廣西三三三三三三三三

文在島市

本邦三三三三三三三三

本邦三三三三三三三三

本邦三三三三三三三三

本邦三三三三三三三三

市番新様

本邦三三三三三三三三

本邦三三三三三三三三

本邦三三三三三三三三

本邦三三三三三三三三

本邦三三三三三三三三

後減

由一千月抄家系部

高部氏系部

高部氏系部

高部氏系部

高部氏系部

高部氏系部

高部氏系部

高部氏系部

高部氏系部

高部氏系部

下

二

國

中

相

下

新

今

町

中

乃物よりく通るる事ありて蓋し之を叶へ明方なり
乃何と云ふ一語なり。其の早通は折なり。其の折
ありて後方より之の羽より折なり。其の折なり。其の折なり。
甲一ハ

二ハ。其の早通は折なり。其の折なり。其の折なり。
其の折なり。其の折なり。其の折なり。其の折なり。
早通は折なり。其の折なり。其の折なり。其の折なり。
其の折なり。其の折なり。其の折なり。其の折なり。

乃何と云ふ一語なり。其の早通は折なり。其の折なり。其の折なり。

乃何と云ふ一語なり。其の早通は折なり。其の折なり。其の折なり。

一。通るる事ありて蓋し之を叶へ明方なり。其の早通は折なり。其の折なり。其の折なり。

乃何と云ふ一語なり。其の早通は折なり。其の折なり。其の折なり。

乃何と云ふ一語なり。其の早通は折なり。其の折なり。其の折なり。

乃何と云ふ一語なり。其の早通は折なり。其の折なり。其の折なり。

死を以てしては百内解はなれど石連平
 孔得系和依報に相対して此等仁孝愛敬の如
 今以言紙達は亦た食はるべきものなり何軒
 能く成るは此の法外律中一と云ふは又此の法外
 何年指別して法外律中と云ふは又此の法外
 是と云ふは又此の法外

法外律中と云ふは又此の法外

法外律中と云ふは又此の法外

由は所目達は又此の法外
 法外律中と云ふは又此の法外
 法外律中と云ふは又此の法外
 法外律中と云ふは又此の法外

法外律中と云ふは又此の法外

法外律中と云ふは又此の法外
 法外律中と云ふは又此の法外
 法外律中と云ふは又此の法外
 法外律中と云ふは又此の法外

湖之水脈也同其分爲四道一曰之歸一曰之利
 在相親而能之也水統其利中之一曰得之
 乃以一統亦非也
 一曰之歸也上相係之如國債案之在也
 光緒年和力之在也
 也其中心之耳
 明之乃其義也

[illegible]

側伏し有一同驛者其言而然の夜人おとあ運送師
お我條甚は店を身にはる身ある同驛者ありあを
中若附添宿病あり病をりあ店を身にお目より
心得遠くは病に中あ當る月形、曉時腫物
あ迎お果の村を候は新中と馬鞍便に死體候
所附と付付中を身にああ入る老若は病を身入牢
多付付中あ人全所候人は病を身と付付中あ思ふ

按ふ所別と候は息悲二月八日一同百病を身あ
相付中候中入牢と付付中あ人とも病を身所候人
所病を身候中あ又三月十日一同百病を身あ人とも病を
所病を身候中あ人とも病を身あ人とも病を身あ人とも
生貨一客を運ぶ者言平日常勤死を運ぶ者言病を
今病を身候中あ人とも病を身あ人とも病を身あ人とも
病を身候中あ人とも病を身あ人とも病を身あ人とも

名譽市使... 俗人... 法新...
 初... 願... 進... 何...
 所... 忠... 忠... 忠...
 法... 忠... 忠... 忠...

敬啟者... 七月...

面...
 敬啟者...
 敬啟者...

敬啟者...

所奉行新樣

敬啟者... 敬啟者...
 敬啟者... 敬啟者...
 敬啟者... 敬啟者...

金麻人運 祐筆 弘和
金麻人運 弘和 危
金 弘和 運 市川 楊 氏

石之痛吾為師所

前云

八月廿六日同文相約於河内關以書贈上之
中云自今以後各處之小兒皆為之相與
新之也云云發自內自方分情願普之節一故余病之
宋之也中條之方之不也一故事後一也

中石長像通悟

忠臣之義

江戶十曜四方新編圖

配心而後起以修身

名 師 外 心 人 幸 會 幸 甚
 王 君 師 友 凡 人 拜 拜

東大・経済
白木屋文書
A8
4-1

石...
 腸...
 胃...
 肝...
 胆...
 脾...
 肺...
 腎...
 心...
 肝...
 胆...
 脾...
 肺...
 腎...
 心...
 肝...
 胆...
 脾...
 肺...
 腎...
 心...

